



「子ども」という視点から、その成長や子育ての様子に触れながら、「未来を担う子どもたちに、何が必要なんだろう？」と自問自答しながら事業してきました。子育てには、母親が安心していきいきと輝ける状況が必要なのだと実感しています。しかし、母親だけが輝き頑張る事を望んではいません。子どもの周りの女性も男性も家族や地域の人たちも、笑顔で輝く事ができたら…それは、子どもたちの未来に続くのだと考えます。その中で、働く女性も子育て中や介護中の女性も輝いていられるような地域が作られることを願っています。

特定非営利活動法人 北海道子育て支援ワーカーズ
代表理事 岡田 光子

働く場所と自主事業を自分たちで作りに出してきた私たちは、女性ばかりが160名ほどで起業しています。NPO法人設立以前より、子育て支援・親支援に取り組む中で、育児しながら働く子育て家庭にも寄り添ってまいりました。

お子さんたちの健やかな成長には、物理的環境だけでなく、どんな大人に囲まれ関わって過ごすかの重要性がよく分かります。とりわけ、その部分を大きく担うのは一般的に「親」ということになりませんが、特に子どもと過ごす時間の多い母親が感じる喜び・悩み・不安などを垣間見る時、自分たちに何ができるのかを考えさせられます。

女性の働き方や活躍のステージも、社会の状況によって変化していくことでしょう。その中であって、柔軟性を持ちながらその時々合った方法で、女性（母親）をサポートしていきたいと考えています。

特定非営利活動法人 北海道子育て支援ワーカーズ

当法人は、各地域で子育て支援事業や活動を行う団体が連合を組織する形で、2002年に設立されたNPO法人です。それぞれの地域支援から見える課題や問題に向き合い、「この街で子育てできてよかった」と実感できる地域作りを目指しています。

お子さんをお預かりする保育事業を基本に、子育て家庭に寄り添い耳を傾けながら、親子や支援者がともに学べる講演会・研修会を企画運営したり、遊びやおもちゃの大切さを伝える事業などを行っています。